

## Q0001

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント1：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

次の説明に最も合う用語はどれか。通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

- A. IPアドレス
- B. DNS
- C. OSI基本参照モデル
- D. HTTP

## 答え・解説

Q0001 正答：C. OSI基本参照モデル

解説：OSI基本参照モデルは、通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0002

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント2：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

OSI基本参照モデルの説明として最も適切なものはどれか。

- A. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- B. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- C. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- D. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

## 答え・解説

Q0002 正答：D. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

解説：OSI基本参照モデルの要点は「通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0003

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント3：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「OSI基本参照モデル」である。

- A. OSI基本参照モデル：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- B. IPアドレス：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- C. DNS：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- D. HTTP：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

## 答え・解説

Q0003 正答：A. OSI基本参照モデル：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

解説：正しい組合せは「OSI基本参照モデル：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0004

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント4：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

「OSI基本参照モデル」は、通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。OSI基本参照モデルは通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0005

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント5：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

組織が「通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. IPアドレス
- B. DNS
- C. OSI基本参照モデル
- D. HTTP

## 答え・解説

Q0005 正答：C. OSI基本参照モデル

解説：この目的に対応するのはOSI基本参照モデルである。通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデルという機能・考え方を持つためである。

## Q0006

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント6：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

「OSI基本参照モデル」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- B. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- C. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- D. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

## 答え・解説

Q0006 正答：D. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

解説：OSI基本参照モデルは通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0007

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント7：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

「OSI基本参照モデル」は、IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述はIPアドレスの説明である。OSI基本参照モデルは通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル。

## Q0008

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント8：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

次の状況で中心となる論点はどれか。「通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル」ことが求められている。

- A. DNS
- B. OSI基本参照モデル
- C. HTTP
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0008 正答：B. OSI基本参照モデル

解説：中心となる論点はOSI基本参照モデルである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0009

ネットワーク

タグ：OSI基本参照モデル

用語：OSI基本参照モデルの確認ポイント9：通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

「通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル」という特徴を持つものを選びなさい。

- A. HTTP
- B. DNS
- C. OSI基本参照モデル
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0009 正答：C. OSI基本参照モデル

解説：OSI基本参照モデルが該当する。定義は通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデルであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0010

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント1：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

次の説明に最も合う用語はどれか。IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

- A. サブネットマスク
- B. DHCP
- C. ルーティング
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0010 正答：D. IPアドレス

解説：IPアドレスは、IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0011

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント2：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

IPアドレスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- B. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- C. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- D. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

## 答え・解説

Q0011 正答：A. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

解説：IPアドレスの要点は「IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0012

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント3：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「IPアドレス」である。

- A. サブネットマスク：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- B. IPアドレス：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- C. DHCP：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- D. ルーティング：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

## 答え・解説

Q0012 正答：B. IPアドレス：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

解説：正しい組合せは「IPアドレス：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0013

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント4：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

「IPアドレス」は、IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。IPアドレスはIPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0014

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント5：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

組織が「IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. サブネットマスク
- B. DHCP
- C. ルーティング
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0014 正答：D. IPアドレス

解説：この目的に対応するのはIPアドレスである。IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレスという機能・考え方を持つためである。

## Q0015

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント6：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

「IPアドレス」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- B. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- C. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- D. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

## 答え・解説

Q0015 正答：A. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

解説：IPアドレスはIPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0016

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント7：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

「IPアドレス」は、IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述はサブネットマスクの説明である。IPアドレスはIPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス。

## Q0017

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント8：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

次の状況で中心となる論点はどれか。「IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス」ことが求められている。

- A. DHCP
- B. ルーティング
- C. IPアドレス
- D. サブネットマスク

## 答え・解説

Q0017 正答：C. IPアドレス

解説：中心となる論点はIPアドレスである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0018

ネットワーク

タグ：IPアドレス

用語：IPアドレスの確認ポイント9：IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス

「IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス」という特徴を持つものを選べ。

- A. ルーティング
- B. DHCP
- C. サブネットマスク
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0018 正答：D. IPアドレス

解説：IPアドレスが該当する。定義はIPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレスであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0019

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント1：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

次の説明に最も合う用語はどれか。IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

- A. サブネットマスク
- B. DNS
- C. TCP
- D. NAT

## 答え・解説

Q0019 正答：A. サブネットマスク

解説：サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0020

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント2：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

サブネットマスクの説明として最も適切なものはどれか。

- A. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- B. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- C. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- D. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

## 答え・解説

Q0020 正答：B. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

解説：サブネットマスクの要点は「IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0021

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント3：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「サブネットマスク」である。

- A. DNS：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- B. TCP：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- C. サブネットマスク：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- D. NAT：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

## 答え・解説

Q0021 正答：C. サブネットマスク：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

解説：正しい組合せは「サブネットマスク：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0022

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント4：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

「サブネットマスク」は、IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。サブネットマスクはIPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0023

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント5：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

組織が「IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. サブネットマスク
- B. DNS
- C. TCP
- D. NAT

## 答え・解説

Q0023 正答：A. サブネットマスク

解説：この目的に対応するのはサブネットマスクである。IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値という機能・考え方を持つためである。

## Q0024

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント6：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

「サブネットマスク」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- B. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- C. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- D. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

## 答え・解説

Q0024 正答：B. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

解説：サブネットマスクはIPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0025

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント7：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

「サブネットマスク」は、ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述はDNSの説明である。サブネットマスクはIPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値。

## Q0026

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント8：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

次の状況で中心となる論点はどれか。「IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値」ことが求められている。

- A. TCP
- B. NAT
- C. DNS
- D. サブネットマスク

## 答え・解説

Q0026 正答：D. サブネットマスク

解説：中心となる論点はサブネットマスクである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0027

ネットワーク

タグ：サブネットマスク

用語：サブネットマスクの確認ポイント9：IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

「IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値」という特徴を持つものを選び。

- A. サブネットマスク
- B. NAT
- C. TCP
- D. DNS

## 答え・解説

Q0027 正答：A. サブネットマスク

解説：サブネットマスクが該当する。定義はIPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値であり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0028

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント1：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

- A. DHCP
- B. DNS
- C. UDP
- D. OSI基本参照モデル

## 答え・解説

Q0028 正答：B. DNS

解説：DNSは、ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0029

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント2：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

DNSの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- D. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

## 答え・解説

Q0029 正答：C. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

解説：DNSの要点は「ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0030

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント3：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「DNS」である。

- A. DHCP：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- B. UDP：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- C. OSI基本参照モデル：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- D. DNS：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

## 答え・解説

Q0030 正答：D. DNS：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

解説：正しい組合せは「DNS：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0031

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント4：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

「DNS」は、ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。DNSはドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0032

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント5：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

組織が「ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. DHCP
- B. DNS
- C. UDP
- D. OSI基本参照モデル

## 答え・解説

Q0032 正答：B. DNS

解説：この目的に対応するのはDNSである。ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組みという機能・考え方を持つためである。

## Q0033

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント6：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

「DNS」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- D. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

## 答え・解説

Q0033 正答：C. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

解説：DNSはドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0034

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント7：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

「DNS」は、端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述はDHCPの説明である。DNSはドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み。

## Q0035

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント8：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み」ことが求められている。

- A. DNS
- B. UDP
- C. OSI基本参照モデル
- D. DHCP

## 答え・解説

Q0035 正答：A. DNS

解説：中心となる論点はDNSである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0036

ネットワーク

タグ：DNS

用語：DNSの確認ポイント9：ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

「ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み」という特徴を持つものを選べ。

- A. OSI基本参照モデル
- B. DNS
- C. UDP
- D. DHCP

## 答え・解説

Q0036 正答：B. DNS

解説：DNSが該当する。定義はドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0037

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント1：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

次の説明に最も合う用語はどれか。端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

- A. TCP
- B. HTTP
- C. DHCP
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0037 正答：C. DHCP

解説：DHCPは、端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0038

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント2：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

DHCPの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- B. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- C. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- D. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

## 答え・解説

Q0038 正答：D. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

解説：DHCPの要点は「端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0039

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント3：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「DHCP」である。

- A. DHCP：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- B. TCP：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- C. HTTP：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- D. IPアドレス：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

## 答え・解説

Q0039 正答：A. DHCP：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

解説：正しい組合せは「DHCP：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0040

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント4：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

「DHCP」は、端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。DHCPは端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0041

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント5：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

組織が「端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. TCP
- B. HTTP
- C. DHCP
- D. IPアドレス

## 答え・解説

Q0041 正答：C. DHCP

解説：この目的に対応するのはDHCPである。端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコルという機能・考え方を持つためである。

## Q0042

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント6：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

「DHCP」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- B. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- C. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- D. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

## 答え・解説

Q0042 正答：D. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

解説：DHCPは端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0043

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント7：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

「DHCP」は、到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述はTCPの説明である。DHCPは端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル。

## Q0044

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント8：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

次の状況で中心となる論点はどれか。「端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル」ことが求められている。

- A. HTTP
- B. DHCP
- C. IPアドレス
- D. TCP

## 答え・解説

Q0044 正答：B. DHCP

解説：中心となる論点はDHCPである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0045

ネットワーク

タグ：DHCP

用語：DHCPの確認ポイント9：端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

「端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル」という特徴を持つものを選び。

- A. IPアドレス
- B. HTTP
- C. DHCP
- D. TCP

## 答え・解説

Q0045 正答：C. DHCP

解説：DHCPが該当する。定義は端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコルであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0046

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント1：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

次の説明に最も合う用語はどれか。到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

- A. UDP
- B. ルーティング
- C. サブネットマスク
- D. TCP

## 答え・解説

Q0046 正答：D. TCP

解説：TCPは、到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0047

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント2：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル  
TCPの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- D. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値

## 答え・解説

Q0047 正答：A. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

解説：TCPの要点は「到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0048

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント3：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル  
用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「TCP」である。

- A. UDP：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- B. TCP：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- C. ルーティング：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- D. サブネットマスク：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

## 答え・解説

Q0048 正答：B. TCP：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

解説：正しい組合せは「TCP：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0049

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント4：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

「TCP」は、到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。TCPは到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0050

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント5：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

組織が「到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. UDP
- B. ルーティング
- C. サブネットマスク
- D. TCP

## 答え・解説

Q0050 正答：D. TCP

解説：この目的に対応するのはTCPである。到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコルという機能・考え方を持つためである。

## Q0051

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント6：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

「TCP」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- B. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- C. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- D. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

## 答え・解説

Q0051 正答：A. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

解説：TCPは到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0052

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント7：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

「TCP」は、接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述はUDPの説明である。TCPは到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル。

## Q0053

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント8：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

次の状況で中心となる論点はどれか。「到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル」ことが求められている。

- A. ルーティング
- B. サブネットマスク
- C. TCP
- D. UDP

## 答え・解説

Q0053 正答：C. TCP

解説：中心となる論点はTCPである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0054

ネットワーク

タグ：TCP

用語：TCPの確認ポイント9：到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル

「到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル」という特徴を持つものを選べ。

- A. サブネットマスク
- B. ルーティング
- C. UDP
- D. TCP

## 答え・解説

Q0054 正答：D. TCP

解説：TCPが該当する。定義は到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコルであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0055

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント1：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

次の説明に最も合う用語はどれか。接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

- A. UDP
- B. HTTP
- C. NAT
- D. DNS

## 答え・解説

Q0055 正答：A. UDP

解説：UDPは、接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0056

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント2：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

UDPの説明として最も適切なものはどれか。

- A. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- D. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み

## 答え・解説

Q0056 正答：B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

解説：UDPの要点は「接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0057

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント3：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「UDP」である。

- A. HTTP：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- B. NAT：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. UDP：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- D. DNS：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

## 答え・解説

Q0057 正答：C. UDP：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

解説：正しい組合せは「UDP：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0058

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント4：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

「UDP」は、接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。UDPは接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0059

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント5：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

組織が「接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. UDP
- B. HTTP
- C. NAT
- D. DNS

## 答え・解説

Q0059 正答：A. UDP

解説：この目的に対応するのはUDPである。接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコルという機能・考え方を持つためである。

## Q0060

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント6：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

「UDP」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ドメイン名とIPアドレスなどを対応付ける仕組み
- B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- D. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

## 答え・解説

Q0060 正答：B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

解説：UDPは接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0061

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント7：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

「UDP」は、Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル。

A. ○

B. ×

## 答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述はHTTPの説明である。UDPは接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル。

## Q0062

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント8：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

次の状況で中心となる論点はどれか。「接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル」ことが求められている。

A. NAT

B. DNS

C. HTTP

D. UDP

## 答え・解説

Q0062 正答：D. UDP

解説：中心となる論点はUDPである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0063

ネットワーク

タグ：UDP

用語：UDPの確認ポイント9：接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

「接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル」という特徴を持つものを選べ。

- A. UDP
- B. DNS
- C. NAT
- D. HTTP

## 答え・解説

Q0063 正答：A. UDP

解説：UDPが該当する。定義は接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコルであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0064

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント1：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

次の説明に最も合う用語はどれか。Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

- A. ルーティング
- B. HTTP
- C. OSI基本参照モデル
- D. DHCP

## 答え・解説

Q0064 正答：B. HTTP

解説：HTTPは、Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0065

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント2：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

HTTPの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- B. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- C. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- D. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル

## 答え・解説

Q0065 正答：C. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

解説：HTTPの要点は「Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0066

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント3：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「HTTP」である。

- A. ルーティング：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- B. OSI基本参照モデル：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- C. DHCP：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- D. HTTP：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

## 答え・解説

Q0066 正答：D. HTTP：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

解説：正しい組合せは「HTTP：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0067

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント4：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

「HTTP」は、Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。HTTPはWebで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0068

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント5：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

組織が「Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ルーティング
- B. HTTP
- C. OSI基本参照モデル
- D. DHCP

## 答え・解説

Q0068 正答：B. HTTP

解説：この目的に対応するのはHTTPである。Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコルという機能・考え方を持つためである。

## Q0069

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント6：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

「HTTP」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 端末へIPアドレスなどの設定を自動配布するプロトコル
- B. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- C. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル
- D. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

## 答え・解説

Q0069 正答：C. Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

解説：HTTPはWebで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0070

ネットワーク

タグ：HTTP

用語：HTTPの確認ポイント7：Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

「HTTP」は、宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述はルーティングの説明である。HTTPはWebで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル。

## Q0071

ネットワーク

タグ : HTTP

用語 : HTTPの確認ポイント8 : Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

次の状況で中心となる論点はどれか。「Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル」ことが求められている。

- A. HTTP
- B. OSI基本参照モデル
- C. DHCP
- D. ルーティング

## 答え・解説

Q0071 正答 : A. HTTP

解説 : 中心となる論点はHTTPである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0072

ネットワーク

タグ : HTTP

用語 : HTTPの確認ポイント9 : Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル

「Webで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコル」という特徴を持つものを選べ。

- A. DHCP
- B. HTTP
- C. OSI基本参照モデル
- D. ルーティング

## 答え・解説

Q0072 正答 : B. HTTP

解説 : HTTPが該当する。定義はWebで要求と応答を交換するアプリケーションプロトコルであり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0073

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント1：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

次の説明に最も合う用語はどれか。宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

- A. NAT
- B. IPアドレス
- C. ルーティング
- D. TCP

## 答え・解説

Q0073 正答：C. ルーティング

解説：ルーティングは、宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0074

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント2：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

ルーティングの説明として最も適切なものはどれか。

- A. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- B. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- C. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- D. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

## 答え・解説

Q0074 正答：D. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

解説：ルーティングの要点は「宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0075

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント3：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ルーティング」である。

- A. ルーティング：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- B. NAT：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- C. IPアドレス：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理
- D. TCP：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

## 答え・解説

Q0075 正答：A. ルーティング：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

解説：正しい組合せは「ルーティング：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0076

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント4：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

「ルーティング」は、宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。ルーティングは宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0077

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント5：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

組織が「宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. NAT
- B. IPアドレス
- C. ルーティング
- D. TCP

## 答え・解説

Q0077 正答：C. ルーティング

解説：この目的に対応するのはルーティングである。宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理という機能・考え方を持つためである。

## Q0078

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント6：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

「ルーティング」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 到達確認や再送制御を行うコネクション型のトランスポートプロトコル
- B. IPネットワーク上の機器やインタフェースを識別する論理アドレス
- C. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- D. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

## 答え・解説

Q0078 正答：D. 宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

解説：ルーティングは宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0079

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント7：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

「ルーティング」は、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述はNATの説明である。ルーティングは宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理。

## Q0080

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント8：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

次の状況で中心となる論点はどれか。「宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理」ことが求められている。

- A. IPアドレス
- B. ルーティング
- C. TCP
- D. NAT

## 答え・解説

Q0080 正答：B. ルーティング

解説：中心となる論点はルーティングである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0081

ネットワーク

タグ：ルーティング

用語：ルーティングの確認ポイント9：宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理

「宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理」という特徴を持つものを選び。

- A. TCP
- B. IPアドレス
- C. ルーティング
- D. NAT

## 答え・解説

Q0081 正答：C. ルーティング

解説：ルーティングが該当する。定義は宛先ネットワークへパケットを転送する経路を選ぶ処理であり、他の候補とは機能が異なる。

## Q0082

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント1：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

次の説明に最も合う用語はどれか。プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

- A. OSI基本参照モデル
- B. サブネットマスク
- C. UDP
- D. NAT

## 答え・解説

Q0082 正答：D. NAT

解説：NATは、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

## Q0083

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント2：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

NATの説明として最も適切なものはどれか。

- A. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- B. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル
- C. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- D. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル

## 答え・解説

Q0083 正答：A. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

解説：NATの要点は「プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

## Q0084

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント3：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「NAT」である。

- A. OSI基本参照モデル：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- B. NAT：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- C. サブネットマスク：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- D. UDP：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

## 答え・解説

Q0084 正答：B. NAT：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

解説：正しい組合せは「NAT：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

## Q0085

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント4：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

「NAT」は、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。NATはプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

## Q0086

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント5：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

組織が「プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. OSI基本参照モデル
- B. サブネットマスク
- C. UDP
- D. NAT

## 答え・解説

Q0086 正答：D. NAT

解説：この目的に対応するのはNATである。プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術という機能・考え方を持つためである。

## Q0087

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント6：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

「NAT」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術
- B. 接続確立や再送を省き低遅延を重視するトランスポートプロトコル
- C. IPアドレスのネットワーク部とホスト部の境界を示す値
- D. 通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル

## 答え・解説

Q0087 正答：A. プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

解説：NATはプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

## Q0088

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント7：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

「NAT」は、通信機能を七つの階層へ分けて整理したモデル。

- A. ○
- B. ×

## 答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述はOSI基本参照モデルの説明である。NATはプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術。

## Q0089

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント8：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

次の状況で中心となる論点はどれか。「プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術」ことが求められている。

- A. サブネットマスク
- B. UDP
- C. NAT
- D. OSI基本参照モデル

## 答え・解説

Q0089 正答：C. NAT

解説：中心となる論点はNATである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

## Q0090

ネットワーク

タグ：NAT

用語：NATの確認ポイント9：プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術

「プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術」という特徴を持つものを選べ。

- A. UDP
- B. サブネットマスク
- C. OSI基本参照モデル
- D. NAT

## 答え・解説

Q0090 正答：D. NAT

解説：NATが該当する。定義はプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換する技術であり、他の候補とは機能が異なる。